日本子ども学会学会誌『チャイルド・サイエンス』投稿について

研究論文・研究ノートを投稿される方は、必ず下記をご一読ください。

- ・研究論文・研究ノート(以下、投稿論文)の投稿は随時受け付けます。
- ・会員、非会員を問わず投稿できます。ただし、非会員は投稿料 5000 円を求めます(投稿料の納付方法等については、投稿前に childscience.editor@gmail.com 宛てにお問い合わせください。回答まで5日程度要します)。
- ・非会員の投稿論文が採択された場合、日本子ども学会の年会費の振込みをもって学会誌に掲載いたします。
- ・同時に複数の研究論文・研究ノートを投稿することはできません。
- ・投稿中の研究論文・研究ノートがある場合は、採否の結果が出るまでは新規の投稿はできません。
- ・採択された投稿論文は、その時点で編集中の直近の号に収録します。
- ・投稿は https://mc.manuscriptcentral.com/cs から行ってください。 (ユーザーアカウントの作成が必要です。詳細は

https://mc.manuscriptcentral.com/societyimages/jst-lt-demo/J_AuthorManual_Kyorin.pdf)

◆査読体制

- ・投稿論文の採否は、編集委員会の議を経て依頼された査読者2名と編集委員(長)の合計3名による審査によって決定します。
- ・査読者のうち1名は原則として投稿された論文の研究領域(または最も近いと判断される領域)の 研究者とし、もう1名は研究領域にこだわらずに選ばれます。
- ・査読者は、投稿論文とそのもとになった研究をよりよいものにしていくという観点から、書面によってコメントします。コメントは査読結果とともに投稿者にお伝えしますので今後の研究に生かしてください。
- ・査読結果は、受理、不採用、修正後再審査のいずれかでお伝えします。
- ・修正後再審査の結果をうけ、後日、修正された論文を提出する際は、修正要求に対して具体的にどこをどのように修正したかをまとめた回答書も合わせて提出ください。また、論文を修正される際には、投稿時と同様に、執筆要項を遵守ください。
- ・修正後再審査の結果ご連絡後、期日までに論文の再提出がない場合はご辞退したものとみなしますので予めご了承ください。

以上の過程は投稿者・査読者ともに匿名で行います。査読者については『チャイルド・サイエンス』に氏名の一覧を掲載します。

査読は研究者の皆さまの善意で成り立っています。投稿論文の内容によっては査読の選定に時間が

かかることもあります。投稿から査読結果のご連絡までの期間は投稿論文ごとに異なりますが、平均 3~5 か月要します。余裕をもって投稿してください。

◆著作権

本誌に掲載された論文の著作権は日本子ども学会に帰属しますので、掲載論文を無断で複製および転載することを禁じます。所属機関リポジトリ等への掲載を希望される場合は、編集委員会にご相談ください。

◆執筆要項

- ①投稿者は、研究を進めるにあたって、倫理的問題に十分配慮することが求められます。詳細は、「子 ども学会投稿規定における倫理について」(本文書の 5, 6 ページ)をお読みください。
- ②「研究論文」は10000字以内かつ刷り上がり5ページ以内、「研究ノート」は8000字以内かつ刷り上がり4ページ以内とします。タイトル、要旨、キーワード、図表、注、引用文献等もこの範囲に収めてください。

③本文は、

- ・Word で作成してください。
- ・指定フォーマットはありませんが、「1段組」、「本文10.5フォント以上」で。
- ・句読点は「。」「、」を使用してください。ただし、参照文献の表記は「,」「.」が使用できます。
- ・タイトル、要旨、キーワード、本文、注、引用文献のみ入れます。図表は入れません。
- ・氏名等は記入しないでください。
- ・図表は別ファイルにしてください。
- ④注は通し番号を付け、本文の後に記してください。本文中にはそれに対する番号を付します。
- ⑤引用文献は、本文の後(注がある場合は、注の後)に記してください。著者名のアルファベット順に一括して挙げ、著者名・発行年・題目・発行所の順に記述します。
- ⑥図表はモノクロにして PDF にしてください。写真は JPEG 形式にしてください。査読者が読み取れるサイズ、解像度のものをご用意ください。
 - ・図1、表1のように通し番号を付けます。本文中にはそれに対する番号を付します。
 - ・表の題はその上部に、図等の題は下部に、説明文はいずれも下部に書くこととします。
- ⑦ヒトを対象とする研究や実践に関する研究論文、研究ノートを投稿される場合は、「子ども学会投稿 規定における倫理について」(本文書の 5,6 ページ)に基づき、研究倫理審査等の承認番号等の記載 等の対応を行ってください。

◆オンライン投稿手順の概要

マニュアルも参照しながら投稿してください。投稿にはユーザーアカウントの作成が必要です。 https://mc.manuscriptcentral.com/societyimages/jst-lt-demo/J AuthorManual Kyorin.pdf

手順 1: 種別、タイトル、要旨

- ・研究論文・研究ノートのいずれかを選択してください。
- ・文字制限に注意しながらタイトル(40字以内)、ランニングタイトル(サブタイトル:40字以内)、 要旨(和文、500字以内)を入力してください。

手順 2: ファイルアップロード

・Word で作成した本文のファイル、図表のファイルをそれぞれアップロードしてください。

手順 3: キーワード

・キーワード (3~5項目) を入力してください。

手順 4: 著者

・共著者がいる場合は追加してください(ユーザーアカウント情報がない場合はその場で共著者情報を登録できます)

手順 5: 設問

- ・「カバーレター」の項目には、論文タイトル、筆頭著者の氏名、所属・職名、連絡先(住所・電話・ メールアドレス)、および「研究論文」「研究ノート」の別を明記してください。
- ・表示された設問に回答してください。

手順 6:確認・投稿

・PDF プルーフを確認後、投稿を提出してください。

投稿後、スカワーランのシステムからの自動返信メールが届きます。

この自動返信メールは、同時に学会誌投稿受付窓口にも届き、投稿された論文等が執筆規定等に準じているかの確認を行います(投稿から1週間から10日以内)。

規定の分量を超過している等の理由で差し戻しになる場合は、スカラーワンのシステムから「チャイルド・サイエンス 論文のお戻し」という件名のメールが送られます。

なお、差し戻し以外にも査読結果のご連絡等もスカラーワンのシステムからメールが届きます。これらのメールの見落としがないよう、お願いします。

以上

投稿後に差し戻しとなるケースについて

- ・文字数は、単語数ではありません。和文、英文ともです。
- ・分量(たとえば、研究論文は 10000 字以内かつ刷り上がり 5 ページ以内)には、タイトル、要旨、キーワード、本文、注、引用文献、図表等も含みます。図表の分量を考慮しないと分量オーバーとなります。
- ・刷り上がりのイメージは、発刊済の学会誌をご参照ください。学会誌は、ホームページ経由で購入できます。https://kodomogakkai.jp/purchase.html
- ・図表を、ワードあるいはエクセルで提出されるケース、カラーでの提出が散見されます。執筆要項 ⑥をご確認ください。
- ・手順⑥で確認した PDF プルーフは提出不要です。 PDF プルーフを誤って投稿しないでください。

日本子ども学会投稿規定における倫理について

1. 著作権および人権への配慮

投稿論文等の内容および記述は、他者の著作権や研究に関わる者の人権を侵害しないよう十分に配慮 されていなければなりません。また、後述の「科学者の行動規範」に従い、倫理的に問題のない研究 であることを確認してください。著作物の利用に関しては、研究対象者から適切な許諾を得る必要が あります。

2. 科学者の行動規範の遵守

研究は「科学者の行動規範」を遵守して実施されなければなりません。これには以下が含まれます:

- · **同意手続きの明示**:研究対象者(未成年者の場合は保護者等、判断能力が不十分と考えられる場合は保護者または成年後見人等を含む)や研究対象組織の研究協力に対する同意手続きを明確に示すこと。
- · **利益相反の開示**:研究実施において経費や便宜を受けた場合には、その利益相反について明記すること。
- ・ **研究倫理審査の記載**: 所属組織の研究倫理審査を受けて研究を実施した場合は、その承認番号を 記載すること。なお、所属機関で審査を受けられない等の場合は、研究実施にあたっておこなっ た倫理的配慮について本文に記載すると同時に、理由書を作成し(書式自由、ファイル名は未審 査理由書、ファイル形式は PDF)、ファイルをアップロードしてください。

3. 方法の明示

研究の方法については、以下の点を記述してください:

- 研究対象者、期間、手順、データの分析方法。
- · 研究協力に対する同意手続きおよび研究倫理審査を受けた場合は、その旨と承認番号。
- 査読用原稿では、組織名と承認番号を匿名化して記載すること。

4. 著作権および著作物の利用

研究対象者が思想や感情を表現した著作物 (例:ワークシートへの記入、図版等)を研究成果として 使用する場合は、以下の要件を満たす必要があります:

- . 研究倫理審査とは別に、著作物の利用について研究対象者または保護者等から許諾を得ること。
- . 許諾手続きの詳細を記録し、必要に応じて提出できるようにすること。

5. 研究倫理の透明性と説明責任

投稿者および共著者は、研究倫理に関する透明性と説明責任を果たすことが求められます。倫理規範 や研究実施方法に関する記述は、研究の信頼性を高めるために明確かつ詳細に記載してください。

以上

2025 年 1 月 日本子ども学会 編集委員会